広報 とよひら

広報紙 第41号

豊平地区町内会連合会

発行者：中川 昭一

札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12

TEL：011-811-9435

豊平の福祉に愛の手が伸びる

豊平地区マークと福祉標語

とよひら塾 歴史巡り開催

令和二年十一月十一日、鉄一が里とよひら塾のとよひら歴史巡りが行われました。毎年、豊平の歴史に関係する場所や北海道史・札幌市史に関する場所をめぐり歴史の深さを知ってもらう行事として人気があります。今年は北海道博物館と札幌護国神社を巡りました。

北海道博物館はかつて北海道開拓記念館と呼ばれ、北海道の開拓の歴史や自然・文化などを五つのテーマにわけて、出土品や当時の遺物が展示されています。最近では北海道開拓の歴史を紐解くことが薄れ、ウポポイが建設されたことによってアイヌ文化が大きくクローズアップしたことにより、北海道博物館もアイヌ文化関連のシフトが大きくなってきています。しかし、北海道の発展はアイヌだけではなく、道外からの移民や屯田兵などが命がけで開拓して尽力したことも事実です。広大な原始林の大地を開拓によって近代化させていった私たちの祖先である和人と呼ばれる北海道民たちの歴史もまた忘れてはいけないし、顕彰することが必要であると思っています。

次に向かったのは、札幌護国神社であります。昼食を食べながら反橋宮司による神社のなりたちや神社史についての話を受けました。札幌護国神社は明治十二年に、西南戦争で戦死した屯田兵を慰霊するために創建されました。その後、各戦争での戦没者・戦病死者や殉職警察官や殉職消防官も祀っており、令和三年現在では二万五千五百五十柱の祭神が祀られています。昼食後に本殿で参拝、地下の遺品殿に行き、札幌護国神社所蔵の遺品や展示品などを見学しました。展示品には軍服や連隊写真帳、戦場での遺物などがあり、先人たちの偉業を顕彰しました。そのあと、野外へ出て、彰徳苑と呼ばれる神社の境内へ行き、各慰霊碑・各石碑などの由来を反橋宮司自ら説明してくださいました。

彰徳苑は、札幌護国神社の境内にある、慰霊碑群が祀られている一帯です。昭和六十年六月七日に三笠宮崇仁親王が札幌護国神社の石碑を御巡拝なされたときに、非公式に命名を賜ったものです。ここには屯田兵招魂碑・沖縄戦戦没者慰霊碑・北海道全海軍英魂之碑など日本のために尊い命を捧げた英霊達を顕彰・慰霊のための慰霊碑・石碑が数多く建立されています。

その後、豊平まちづくりセンターにもどり各自解散いたしました。次回も町内の皆様所を考えますのでにしてください。お楽しみください。

コラム さざれ石

札幌護国神社には「さざれ石」というものがあります。この「さざれ石」は神社の再建を記念して、昭和四十五年に北見市の亀井林右エ門が奉納したものです。三億年前の古世層紀に形成されたものと言われています。さざれ石は、もともと小さな石の意味ですが、長い年月をかけて小石の欠片の隙間を炭酸カルシウムや水酸化鉄が埋めることによって、ひとつの大きな岩の塊に変化した「石灰質角礫岩」となったものです。日本の国歌である「君が代」にも歌われています。

新型コロナウイルス感染拡大に便乗した悪質商法や特殊詐欺に注意してください

新型コロナウイルス感染拡大に便乗した悪質商法や特殊詐欺に注意してください！少しでも疑問や不安を感じた場合には、すぐに消費生活センターや警察に相談してください。

- 国や地方公共団体の給付金・助成金を装った「だまし」「詐欺」にご注意ください！
- 心当たりのない送信元からのメールや電話は無視しましょう。個人情報を絶対に伝えてはいけません！
- 市役所などの行政機関を名乗る、行政から委託されたという業者などからの電話や訪問、心当たりのない送信元から怪しいメール・SMS、SNS等、怪しい・おかしいと思うものには反応しないようにしましょう。
- 新型コロナウイルスに便乗した悪質な勧誘を行う業者には、耳を貸さないようにしましょう。
- 商品購入の勧誘などを受けた場合には、その場で簡単に決めずに、家族など周囲の方にも相談して、よく考え冷静に対応してください。
- 契約してしまっても、クーリングオフや契約の取り消しができる場合があります。

まずは身近な人に相談しましょう！

「カードすり替え詐欺」が急増しています！

新型コロナウイルス感染防止のため在宅している高齢者が狙われています。警察官や金融庁職員をかたって高齢者の自宅を訪問し、キャッシュカードを見せてもらい、隙を見て偽物とすり替える「カードすり替え詐欺」と呼ばれる被害が急増しています。被害者の手元には偽物のカードがあるため、盗まれたことに気づきにくく、連絡があるまで保管するように言われるため、放置することで発見が遅れてしまいます。

アドバイス！

警察官や金融庁職員をかたる電話があっても、むやみに信用してはいけません！

他人にキャッシュカードを渡してはいけません！

暗証番号を教えてはいけません！

不審だなと思ったら、110番または警察相談電話#9110へ

我が町内 豊平第13分区町内会

豊平第十三分区町内会は二年前、四十周年を迎えました。

四十年前は一軒家が圧倒的に多く、豊平製鋼所をはじめ製造業の会社も多くありました。教育の中心は東園小学校で多くの住民は卒業生でした。しかし、この十年でマンションが立ち並び、パチンコ店や介護施設・保育園など様々な施設も建設され、街の様子が一変しました。

先輩の役員の方々の尽力もあり、町内会加入率が現在七十％台になりました。今後も更なる加入率を上げるため町内会活動を理解していただき、様々な工夫をしていきたいと思います。本町内会は親睦と融和をモットーに様々な活動を展開しています。子ども達には花火大会・ミニミニ縁日・ラジオ体操などがあり、住民の交流をめざした秋レク（焼肉）・日帰り温泉バス旅行・新春親睦会など幅広い活動をしています。

しかし、様々な課題も見えてきています。マンションの増加により、住民の意思疎通ができているとはいえません。このことは役員選出にもかかわってきます。できるだけ若い世代の参加を促すために、イベントごとに実行委員会形式をとり、企画段階から参加していただき、自分たちの手で作り上げていくという試みです。その中から町内会活動を理解していただき、役員にもという方向です。

気候変動や地震の多発で防災に関する町内会の役割は大きくなっています。顔見知りを有効に活用し、町内会にしかできない活動を模索していかなければと思っています。特に若い人の参加が重要かと思っています。また、高齢者が我が町内でも多くなっています。一人住まいの高齢者の見守りも重要になっています。民生委員と協力して安心・安全に生活できる高齢者対応が急がれます。「できるところからやる」「無理しない」を方針に掲げ、会員の皆さんとよりよい街づくりを進めていきます。

防犯功労者表彰受賞

第九分区町内会　古村宗久氏

町連防災部副部長・第九分区町内会防犯防災部長の古村宗久氏が一月二十七日、豊平警察署において防犯功労者として表彰されました。

長年にわたる地域防犯活動を評価されたもので、豊平警察署長と豊平防犯協会連合会長の連名表彰で、警察署長・防犯協会連合会長、同署幹部のほか、町連防犯部から石川紀男町連防犯部長代理が列席しました。

志村鉄一翁の石碑補修報告

豊平川の渡し守として見守り続けてきた志村鉄一翁の石碑が豊平の有志により現在の場所に移転されました。永い間雨風に堪えてきましたが、令和二年九月初めころに石碑の上部に亀裂が入っているのを発見し、補修が必要となりました。相談を受けて豊平地区のお手伝いをしている「三人のおっさん」が石碑を見ることになりましたが、見てびっくり、台座の部分は札幌軟石で出来ていましたが劣化して、欠けて崩れていました。石碑の部分は左右に亀裂が入っているので、接着剤でコーキング補修をすることにしました。石碑の上部の亀裂は取り外すことにしました。剥がしてみると、石と石の間に羽根アリの巣があり、百から百五十匹くらいいたと思いますが、アリさんたちには退去してもらい、防水ペンキを塗り、台座部分の隙間にはコンクリートを流し込んで固めることにしました。石碑の台座は枠を組んでコンクリートを流し、台座の四方を固めて防水ペンキを塗って出来上がりです。上々の仕上がりになりました。

志村鉄一翁も足元ががっちりと綺麗になり、これからも豊平川を見守ってくれるものと思います。三人のおっさんも出来上がりの良さに満足げでした。

お知らせ

【豊平地区町内会連合会から】

祝　次の方々が表彰を受けられました。

★叙勲 瑞宝単光章

細井正勝さん

○札幌市防災表彰
豊平地区町内会連合会

○クリーンさっぽろ
衛生推進貢献者表彰
吉川鴻治さん

○札幌豊平防犯協会
功労者表彰
古村宗久さん

○豊平警察署少年補導員
連絡協議会
札幌方面少年補導功労者表彰
青山　豊さん

○札幌市長表彰
クリーンさっぽろ
実践模範地区
豊平第十三分区町内会

【防災コラム】

豊平区のコミュニティFMはFMアップル76・5MHz。市内で災害が発生した場合、優先的に非常放送を行います。

編集委員長　渡辺　英雄

編集委員
石川　紀男・有馬　尚経
下濱　明幸・吉川　鴻治
工藤　修一・中村　和司
大窪　祐子・菊地　久志
多田　裕子・湯谷由美子

町連防災部 札幌市防災表彰受賞

一月二十一日付「札幌市防災表彰」受賞が決定しました。表彰状伝達式は昨今のコロナ感染症拡大を勘案し、当初予定が三度に渡り延期となり、三月九日、豊平区役所会議室で行われました。

表彰状伝達式には、町連から中川会長・渡辺防災部顧問・石川防災部長、豊平まちづくりセンター本間敬規所長が出席し、天野周治豊平区長から中川会長に札幌市長表彰状が伝達されました。表彰状伝達後、区長から、平成二十六年度の受賞後も継続して防災訓練を継続してきたこと、令和二年度にはコロナ感染症に配意した避難所運営訓練を実施したこと等について感謝のご挨拶をいただきました。

防災部は平成二十六年に組織改編・規約制定のほか、防災資器材の斡旋、防災意識アンケート調査、小学校での避難所訓練等に取り組み平成二十七年一月に札幌市防災表彰を受賞しており、以来、継続して規約第三条にある、豊平地区地域住民の相互扶助の精神に基づき、各町内会一体となった自主的かつ組織的な防災活動を行う事で災害による被害の防止と軽減を図ることを目的とするとの基本理念を中核とした、地域防災力の充実強化に取組んでいます。

具体的には「想定に基づく」災害情報や避難行動を地域全体で取り組んできました。しかし、防災部だけでは解決の出来ない大きな課題も少なくありません。

一、地域高齢化の問題、
二、地域と直接触れ合う機会の無い方
三、道内外地域から転入してきた方

等に対しての広域的なネットワークの拡充はこれからの課題として、取組んで行かなければなりません。

札幌市の高齢化率も二十九％と政令市では七位に位置し、地域との結びつきが弱まっており、道内外地域からの高齢者の転入が毎年二千人を上回り拍車をかけています。

そんな中、「災害時、家に一人ぼっち」こんな不安を抱えている人は少なくないはずです。

豊平会館（まちづくりセンター）の新型コロナ感染症対策について

昨年来、市中に新型コロナ感染症が蔓延し、皆さんの身近でも罹患者や濃厚接触者の情報が入りつつあると思います。

町連では、コロナ感染症予防のため、令和二年度の定期総会を書面議決としたほか、ふれあいまつり等の諸行事や会議も、のきなみ中止に追い込まれました。また、北海道神宮例祭神渡御、豊平神社例大祭の神輿・山車・子供神輿の合同パレードも中止のやむなきに至りました。

本年になっても、コロナ感染者数が減少せず、新年交礼会を中止したほか、諸行事・会議も中止せざるを得なくなっております。町連総会始め町連各部の総会も四月以降順次日程が迫ってまいりますが、コロナ禍の推移をみて書面議決も視野に検討をお願いします。

町連活動の中心地である豊平会館・豊平まちづくりセンターでは、感染症対策の一環として手指消毒用のアルコールを購入配備しているほか、二階大広間の会議用にアクリルパーテイション二十九個・町連事務所に同三個を設置しました。

また、玄関でスリッパに履き替えいただいておりますが、使用済みスリッパと消毒済みスリッパを区分するため、スリッパ入れプラスチックコンテナ二個を増設しました。

コンテナに「返却」「消毒済み」と区分表示。

使用済みスリッパは、毎日消毒清掃するようにしました。

さらに、事務室の「密」を避けるため、まちづくりセンター事務所と町連事務所を分離しました。

会館を利用される皆様に少しでも感染症予防と安心につながればと思います。

現在、カラオケの使用も中止させていただいておりますが、会議等を開催する場合は、来場者の体温測定のための防災部備品「非接触型体温計」の貸し出しも可能としております。

一人暮らしが直面する災害時のリスクは「誰も気がついてくれない」という不安と孤独感です。このような不安や孤立感を払しょくするには、日頃からのコミュニティーや人間関係を持つ、隣人や地域の人々であり、早期発見と迅速な対応が求められています。

これからも変わりません。

我々も発想の転換が急務となり、幅広い役割を持ちながら、体制を整えていかなければならないと決意も新たにしております。

細井正勝氏、瑞宝単光章受章

長年にわたって豊平消防団長を務められた細井正勝氏が、五十年以上の消防団活動による防火・防犯の功労により瑞宝単光章を受章されました。細井氏は旭水地区に生まれ、先代からの食品工場を経営されながら長きにわたり旭水町内会や商工会の重鎮として存在感のある活動に従事し、現在も保安部顧問として防犯・防火活動や違法駐車の問題に取り組むなど、大いに活躍されています。豊平地区町内会連合会でも防災・保安関係のトップを長年務めました。また、消防団の活動についても長きにわたり活躍され、豊平分団長などを経て豊平消防団長に就任されました。豊平地区の防災を一手に受け持ち、災害対策の第一人者でした。この度の叙勲、まことにおめでとうございます。

町連各部の紹介

豊平地区老人クラブ連絡協議会

豊平区に老人クラブが創立されたのは昭和四十九年五月に「豊平地区老人クラブ連絡協議会」として発足しました。当時の組織は単位クラブ二十二クラブ会員数二千五十二名でした。その後、昭和五十八年に現在の「豊平区老人クラブ連合会」と名称を改称し現在に至っております。

そんな折、私たちの豊平地区では、すでに単位クラブとして昭和三十五年設立された「豊平ときわ倶楽部」、昭和四十七年設立された「旭水クラブ」が「札幌市老人クラブ連合会」の組織の中で活動していました。その後、札幌市の政令都市行政区分が施行され、豊平地区に前述の二クラブのほか平成十年に「豊平橋台ときわ会」「ときわ睦会」「ときわ豊友会」「豊平さつき会」が設立され、現在の六つの単位クラブで会員数三二五名の「豊平地区老人クラブ連絡協議会」の組織として活動しています。

毎月第三火曜日に理事会を開催し、市・区老連の連絡事項報告、各クラブ情報交換、問題解決その他フリートークなど和気藹々の親睦を図っています。

また各クラブに於いては各種のボランティア、趣味・リクリエーション活動、健康促進など多才に活動しています。

「豊平地区老人クラブ連絡協議会」としては定期総会、親睦パークゴルフ大会、新年会、福まちお楽しみ演芸大会、共同募金など年間行事として活動しています。

最近は社会環境が厳しくなっており、高齢者が増加しているのにもかかわらず、クラブの加入率が悪くなっています。六十歳以上でこれからクラブに加入されたい方は豊平会館までご連絡ください

会長	瀧口　潔（旭水クラブ）
副会長	佐藤　光彦（豊平さつき会）
会計	小田桐尚子（旭水クラブ）
理事	田中　範子（豊平ときわ倶楽部）
	田中　保夫（豊平ときわ倶楽部）
	三上　武（旭水クラブ）
	吉田　保明（豊平橋台ときわ会）
	中島　和子（豊平橋台ときわ会）
	下濱　明幸（豊平ときわ睦会）
	土屋　栄子（豊平ときわ睦会）
	酒井　秀男（ときわ豊友会）
監査	松岡　幸子（ときわ豊友会）
	川瀬　信一（豊平さつき会）

地区老連定例会議中

健康長寿のための12か条

1. 食生活：いろいろ食べて、「痩せ」と「栄養不足」を防ごう！
2. お口の健康：口の健康を守り、「噛む力」を維持しよう！
3. 体力・身体活動：筋力＋歩行力で、「生活体力」をキープしよう！
4. 社会参加：「外出・交流・活動」で、人や街とつながろう！
5. 心（心理）：めざそう「ウェル・ビーイング」。百寿者の心に学ぼう！
6. 事故防止：歳を重ねるほど増える、「家庭内事故」を防ごう！
7. 健康食品やサプリメント：正しい「利用の目安」を知ろう！
8. 地域力：広げよう地域の輪。「地域力」でみんな元気に！
9. フレイル：「栄養・体力・社会参加」３本の矢で、「フレイル」を防ごう！
10. 認知症：よく食べ、よく歩き、よくしゃべり、「認知症」を防ごう！
11. 生活習慣病：「高齢期の持病」を適切にコントロールする知識を持とう！
12. 介護・終末期：「事前の備え」で、最期まで自分らしく暮らそう！

東京都老人総合研究所

大好評 移動スーパーとくし丸 買い物支援事業

令和二年九月からはじまった買い物支援事業ですが、多くのお客様に利用していただき、非常に大好評でございます。町内会の買い物ボランティアさんの協力もあり、続々と利用者が増えてきています。また、とくし丸事業部さんもお客様のニーズに答えた品ぞろえをはじめ、注文品や季節の商品、仏花・お供え物なども取りそろえており、高齢者の多い地区には喜ばれています。令和二年九月より十二月までの活動記録をご報告いたします。

	買い物支援延べ回数		買い物利用者延べ人数
① サンハイツ木の花前	火曜午前 11 時	14 回	138 人
② 水車町５～７丁目堤防沿い	火曜午前 11 時 45 分	14 回	80 人
③ アルファレジデンス学園前	火・金曜午後 12 時	27 回	219 人
④ 水車町６丁目 理容クロバー前	金曜午後 12 時 50 分	11 回	33 人
	合計 66 回		合計 470 人

谷内第十分区会長逝去される

豊平第十分区町内会会長で学校法人谷内学園理事長の谷内昭治氏が令和二年十月三十一日に逝去されました。谷内氏は昭和十四年五月二十七日に山形県で生まれ、昭和三十八年に小樽商科大学商学部を卒業後に北海道新聞社に入社しました。その後、昭和四十五年に北海道文化服飾学院の理事長代理に就任、学校法人谷内学園副理事長や札幌幼児保育専門学校校長、札幌東自動車学校設置者などを歴任し、平成九年には学校法人谷内学園理事長に就任しました。谷内氏は北海道文化服装専門学校において昨今のファッション業界をけん引する多くの逸材の輩出に尽力し、その功労により、文部科学大臣表彰（専修学校教育功労）・日本ファッション教育振興協会表彰（服飾教育功労）を受けられ、平成二十三年には瑞宝単光章の叙勲も受けられました。

町内会活動では第十分区町内会の厚生部長・副会長などをつとめ、平成十八年からは町内会長として活躍されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

鷲田町連監事逝去される

豊平町連監事・豊平第九分区町内会副会長鷲田日出久氏が令和三年一月二日に八十五歳で逝去されました。鷲田氏は昭和十二年十一月十九日豊平区で出生し、北海短期大学（現北海学園大学）を卒業後、豊平三条五丁目において父が営む鷲田商会に入社、三十九歳まで勤め、その後、独立、平成三年現在地において鷲田商事を経営し現在に至ります。

鷲田氏は、人物温厚で地域の信望も厚く、平成九年から第九分区町内会の役員を務め、地域の環境衛生活動に従事し平成十七年から同町内会副会長に就任、平成二十六年からは防犯防災部副部長を兼務し現在に至ります。また、平成二十八年から豊平地区町内会連合会監事に就任し、町内会連合会役員として地域の発展に多大な貢献をされてきました。

この間、平成二十五年には環境衛生功労により、クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会会長表彰を受賞されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

三橋豊平神社宮司逝去される

豊平神社の三橋昌功宮司が令和三年一月七日に四十四歳で逝去されました。三橋氏は昭和五十三年三月七日に先代宮司・三橋文憲氏の次男として生まれました。平成十二年に國學院大學別科神道專修Ⅱ類を卒業し、翌年に豊平神社権禰宜として奉職、のちに禰宜に昇進、令和二年七月に先代宮司逝去にともない豊平神社宮司に就任したばかりでした。北海道神社界の若手のホープとして北海道神道青年協議会の副会長、北海道神社庁札幌支部青年神職文月会会長として活躍されていました。民間活動としては豊平消防団班長、日本ボーイスカウト札幌第三団育成会長などをつとめました。豊平神社の禰宜・宮司として、豊平神社例祭のほか第八祭典区の事務局次長として、平成二十五年には豊平神社神輿会「豊神會」を設立するなど、大いに活躍されました。心よりご冥福をお祈りいたします。